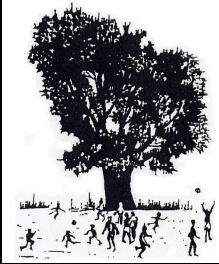


上野原市立  
上野原小学校

平成27年度  
第11号

発行者  
校長 近藤周利



# 上小っ子

一年間  
ありがとうございました

今年も楽しい学校を目指して、「チーム上小」を合い言葉に、教職員が一丸となって子どもたちの教育に取り組んできました。子どもたちにとって上野原小学校は楽しい学校になったでしょうか。

この一年、保護者の皆様、また地域の皆様には、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後ともご支援をよろしくお願いします。

ありがとうがいっぱい  
六年生を送る会

今年も二月二十六日(金)に「六年生を送る会」が行われ、六年生を囲んで、楽しいひとときを過ごしました。

今年もキャンドルの炎とともに、新しい児童会役員に上小の伝統が引き継がれました。各学年からは、上小のリーダーとして活躍してくれた六年生にありがとう、一緒に遊んでくれたお兄さんやお姉さんにありがとうと感謝の気持ちが伝えられました。

(入場する六年生)



また、六年生からは、指導してくれた先生方へ、ありがとう、そして、育ててくれたお父さんやお母さんへ「ありがとう」いっぱいのお礼の六年生を送る会になりました。(児童会の新旧の引き継ぎ)



水越八重さんの  
肖像画応接室に



水越八重さんをご存じでしょうか。皆さんは「八重山」と言えば気づかれるでしょう。昭和四年に八重さんは、「すばらしい子どもを育てるために役立ててほしい」と、三十九ヘクタールという広い山林を上野原小の財産として、当時の上野原町に寄付して下さいました。そして、その山が八重山と名付けられました。

肖像画は三・四年生の授業で使用する副読本「わたしたちの上野原市・山梨県」に掲載されているもので、写真のように職員室横の応接室の壁に掲げました。

スマホ依存低年齢化

写真は二月十九日の山日新聞の記事です。現在、スマートフォンを持つ小学生が増えているようです。ということは、スマートフォンを買い与える親が増えているということです。

新聞記事は、スマホなどが手放せない「ネット依存」が低年齢化しており、不登校や健康被害を招くおそれがある」と指摘しています。

本校でも寝床でゲームをしていて、寝る時刻が遅くなっている児童がいるなどの話が聞かれます。ケータイやスマホ、そしてゲーム機については、保護者の注意や約束、見守り、指導というペアレンタルコントロールが必要です。

2016年(平成28年)2月19日 金曜日

## スマホ依存 低年齢化

### 不登校、健康被害招く恐れ

小学生のスマホ・携帯電話の所有率は、2010年度は11%、12年度は12%、13年度は13%と増加傾向にある。また、小学生のスマホ・携帯電話の所有率は、2010年度は11%、12年度は12%、13年度は13%と増加傾向にある。

小学生も専門医受診

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、低年齢化している。健康被害を招くおそれがある。また、不登校や健康被害を招くおそれがある。

八十七名の卒業生  
おめでとうございます

三月二十三日(水)に第一四二回の卒業証書授与式が行われました。

八十七名の卒業生一人一人に卒業証書を渡し、はなむけに、二つの言葉を贈りました。

一つ目は、「チャレンジ」です。挑戦することは、経験を生み、やがて社会に立ち向かう力になります。

二つ目は、「努力」です。「努力」はチャレンジを支える力です。「努力」と「チャレンジ」を繰り返して、目標に向かって一歩ずつ力強く進んでほしいと思います。

三つ目は、「仲間」です。本年度、ノーベル医学生理学賞を



受賞された本県出身の大村智先生は、「一期一会」という言葉を大切にされ、「人との出会いを大事にすることが、人生では大切である」とおっしゃっています。仲間を、仲間との出会いを大切にしたいと思います。



卒業生の皆さん、「チャレンジ」「努力」「仲間」をキーワードに、中学校へ行って頑張ってください。皆さんの活躍を期待しています。



先生方と保護者の皆様でアチを作り、卒業生を送りました。夢と希望、感動と感謝がいっぱいの素敵なお知らせです。がんばれ 上小っ子。

につちゃん完成  
笑顔いっぱいの上小に



写真は「につちゃんプロジェクト」で集まった「ふわふわ言葉」でできたにつちゃんです。体育館の壁に掲げられました。

児童会のスローガンにある「笑顔無限大の小学校、上小」の完成です。につちゃんの笑顔を見て、嬉しくなりました。これからも楽しい学校にするために、「ふわふわ言葉」を増やしてほしいと思います。

前回もお伝えしましたが、子どもたちが言われて嬉しい言葉は「ありがとう」だそうです。ありがとうございます。学校に、家庭に、そして地域にしたいですね。ご協力をお願いします。

今年も、卒業、そして進級する皆さんへ、「支度」という詩を紹介いたします。この詩はかつて六年生の国語の教科書にあったものです。作者が一番言いたいことは、最後の三行です。皆さんの支度はできましたか。

支度

黒田三郎

何の匂いでしよう  
これは

これは春の匂い  
真新しい着地の匂い  
真新しい革の匂い  
新しいもの  
新しい匂い

匂いのなかに  
希望も  
夢も  
幸福も

うっとり  
浮かんでくるようです

ごったがえす  
人いきれのなかで  
だけどちよっぴり  
気がかりです  
心の支度は  
どうでしょう  
もうできましたか

ごったがえす  
人いきれのなかで  
だけどちよっぴり  
気がかりです  
心の支度は  
どうでしょう  
もうできましたか

ごったがえす  
人いきれのなかで  
だけどちよっぴり  
気がかりです  
心の支度は  
どうでしょう  
もうできましたか

ごったがえす  
人いきれのなかで  
だけどちよっぴり  
気がかりです  
心の支度は  
どうでしょう  
もうできましたか

あしあと

二年間、「上小っ子」をお読みいただきありがとうございました。校長としての思いを書かせていただきました。時に失礼があったかもしれません。お許しいただきたいと思えます。

二十八年前に初めて赴任してから、何度も本校で勤務させていただきました。この三月末で定年となります。今では教え子が保護者になっています。先日はかつての保護者で本校にお孫さんが通っている方が来校し、昔話に花を咲かせて、楽しいひとときを過ごしました。

私は、上小が大好きで、本校の校長を務めることができ、とても幸せでした。

保護者の皆様、また地域の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。二年間本当ありがとうございました。

保護者の皆様、また地域の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。二年間本当ありがとうございました。

保護者の皆様、また地域の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。二年間本当ありがとうございました。





